

スロ～なニュースレター



協会活動 ● いろいろ報告

天習+せ学【環境「緑育」活動】

ベルファーム竹林の整備と竹炭焼き(通称:竹プロジェクト)

コープ三重からいただいた平成26年度環境補助金で簡易炭焼器を購入することができ、長い間の課題であった竹炭焼きに取り組む機縁ができました。本格的な炭窯も造ることができる炭焼名人の右田さんの炭の力についての啓蒙と、竹にかかわる多くの仲間たちのネットワークができつつあり、ベルファームの放置竹林の整備も兼ねて、竹林整備や竹炭焼きプロジェクト(通称竹プロジェクト)に取り組みます。

この簡易炭焼器「すみやけー」は岡山県の石井さんが開発した2kgタイプの(ダブル煙道タイプを購入)簡易なもので、三重大学伊賀研究拠点の山崎先生や加藤先生がすでに伊賀で実演されているものです。初めて3/22(日)ベルファームのこもれびの森(西門横の林の中)にこの「すみやけー」設置し、試験燃焼させたときには加藤先生をはじめ右田さんなどが参加

てくれました。

その後、第二回5/24(日)、第三回7/19(日)と進め、第四回目は環境週間の9/22(火祝)に行い、竹輝銅庵さんが寄贈してくれたバーベキュー用のU字溝を使って、竹によるハンゴと共に当日参加者12人の交流を楽しみました。

第一回目と第四回目に関しては豊ヶ丘コミュニティクラブのメンバーも参加してくれ、つながりの輪が広がりました。

来年に向けては、さらにいい竹炭を作るべく経験をつんでいくと共に、子どもたちの参加をどのように進め、次世代につないでいかも課題です。定年世代が楽しんで多少とも世の中がいいことをしながらも、その世代が持っているノウハウや生きる知恵を少しでも次世代につないでいきたいものです。(大原)



天習+せ学【環境「緑育」活動】

「農業塾Ⅲ期/Ⅳ期」

庭園視察 研修会に行きました。

平成26年9月6日(土)から始まった農業塾第Ⅲ期が、平成27年8月1日(土)で1年間(12回)の講座を終えることができました。第12回目の講座後、すぐに第Ⅲ期修了証授与式を行いました。27名が修了証書を塾長(大原理事長)から授けられました。また、在籍3年の受講生(13名)の皆さんは、農業塾の卒業生(1期生)となり、今後とも農業塾同窓会のメンバーとして農業塾や「NPO法人三重スローライフ協会」の諸活動に協力してもらい、当協会の一層の充実発展に寄与していただくと期待しております。



修了式が終了し次第、「研修(修了)旅行」(15名参加)になりました。今年度も農業塾実践農場で栽培した小麦(ゆめちから)とライ麦を利用した「実践農場産麦を利用したパン作り」として、伊賀白鳳高校フードシステム科にお世話になりました。当該高校ではフードシステム科の新崎先生に親切極まりないパン作り指導を受け、また、できたてのパンの試食もでき、たいへん有意義な研修旅行となりました。

平成27年9月5日(土)から、22名の受講者をもって「農業塾Ⅳ期」が始まっています。第Ⅳ期では新規参加者11名を迎え、さらに充実した講座にしようと考えています。今後とも、関係する皆様方のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

なお、農業塾(概要や講座内容など)については、「NPO法人三重スローライフ協会・農業塾」としてインターネットで情報公開していますのでご覧ください。(森川、藤田)



天習+せ学【環境「緑育」活動】

平成27年9月21日(祝) 第8回 リユース広場を開催しました。



平成27年9月21日(祝)午前10時から午後1時まで、くるくる環境フェスタの2日目に「リユースの広場」を開催しました。この日は爽やかな秋晴れに恵まれ、会員の皆様から頂いた多くの寄付品で開催することができました。

今回も贈答品や買ったけれど使わなかったものなど、ご家庭で眠っていた新品の品物がたくさんあって、私たちはものに溢れた生活を送ることに慣れていると感じました。あまり必要で無いものは、買ったり贈ったりしないことの大切さを、毎回ボランティアのメンバーと考えさせられます。

また今回は、季節の変わり目ということもあり、農業塾からのお野菜が少し少な目でしたが、ピーマン・大豆・黒ニンニクなども販売しており、完売することができました。皆様の寛大なご協力に感謝いたしております。ありがとうございました。

(近田)

平成26年5月17日(日)～8月1日(月)

【受託事業】シルバー人材センター 「就農者養成」技能講習を実施

「平成27年度『就農者育成』技能講習」を5月17日(日)から8月1日(月)まで、7回の講座を設けて行いました。

これは、(社)三重県シルバー人材センター連合会を介した厚生労働省の委託事業です。今年度は3年目で、講師陣(大原理事長、藤田理事、森川事務局長)も要領を覚え、充実した学習内容を設定できたように感じます。

受講者は12名(内女性2名)で、講習期間中の非常なる暑さに耐えて計画通り終えることができました。

この受講者の中から、NPO法人三重スローライフ協会への入会を希望した方が9名いて、今後の本協会の活動に協力してくれることになったということも、この講習会の成果だと思いました。

(藤田、森川)



講義内容



ナスやピーマンの定植



麦刈り



麦の収穫



講義風景

地産地消の平凡人生

2015年度前半の サロンフィリア(旧スローな談話会)報告

今年度は簡易炭焼器を購入して、竹林整備や竹炭焼き、竹細工に興味を持つ人たちのネットワークが広がっていることもあり、そのような話題が多くなりました。

6月の総会以降、スローな談話会の名称を「サロンフィリア」(フィリアは友愛の意味)と変更し、実践的な知恵を育み、友愛のネットワークを広げていこう、という意味を込めました。その結果、初めてまちかど竹博物館での開催も可能となりました。

5月の後藤さんのお話は、農業での効率性は追求しながらも、できるだけ環境にやさしい取り組み、物を活かしていくさまざまな取り組みの提案がありました。日本が人口縮小社会に入ってきた現在、少なくとも高度成長期の大量生産・大量廃棄のライフスタイルを、生活の次元から変えていく取り組みは引き続き求められています。借金運営の私たちですが、歴史や人々に学びながら生活の知恵と工夫を重ねていくことは私たちの人生自身を豊かにしていく道でもあろうかと思っています。



まちかど竹博物館(竹輝銅庵)での初めての会合(6/16)

平成26年10月から27年2月までの話題提供者とテーマ、参加人数は表の通りです。

	話題提供者	テーマ
4/23(ベル)	笹原寛次	いぶし竹に魅せられて
5/17(ネオ)	後藤健	大規模農業と暮らしを支える知恵と技
6/16(竹輝)	竹本博志	竹製品による社会貢献について
7/21(ネオ)	倉田汎	人間と自然の関わり方について—日本人の自然観—
8/18(ベル)	倉田・大原	竹プロジェクトを進めるにあたって
9/21(ネオ)	大原興太郎	ベルファームでの竹林整備等—子どもたちをどのように誘うか—

(ベルはベルファーム開催、ネオはネオポリス・津の開催)

なお、21号で案内したピーター・D・ペーダーゼン氏を再度迎えてのセミナー(5月23日(土)、アスト津)は、盛況裏に終わりました。その時のテープおこしの原稿ができていますので必要な方はご連絡ください。(大原)